

スカウトだより

発行 / ボーイスカウト鳥取連盟米子第11団

第85号

令和4年6月5日発行

ウイズ コロナで活動!

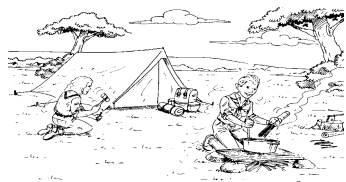


2021年11月21日 月山富田城山頂にて

キャンピングについて

キャンプでは、さまざまな自然環境のもとで生活するので、都会での生活以上に注意を払わなければならないことがあります。それは、健康管理や食物の腐食防止や水の確保といったことです。実はこうした野外生活の中で健康管理ができるようになることは、スカウトが将来にわたって、幸せな人生を歩む上で最も大切な条件、「健康」というものを手に入れるための良い習慣を身につけていくことになるのです。キャンプの朝、新鮮な空気は、スカウトをリフレッシュするだけでなく、必要な酸素を脳に送り込んで、活発な活動を促します。キャンプの活動は、特に立派な筋肉を必要とするものではありませんが、健康的な姿勢の良い体をつくります。又、キャンプ作業を通じて班の仲間との間で役割分担をして協力することで責任感、友情は育まれていきます。このようにキャンプがスカウトの肉体的にも精神的にも、そして社会的にも健康にしてくれます。

スカウトキャンプは、スカウティングの目的ではなく、少年少女たちをスカウティングの目標である、よりよい市民に育てあげるための最良の方法です。その運営にあたる指導者はその方法を正しく理解して、スカウトキャンプの実践によってその目的に向かっての計画と実行が伴ってはじめての教育の効果をあげることができます。すべてのスカウトたちができるだけ多くのこうしたキャンプに参加する機会があたえられるように十分に配慮します。



リーダーハンドブックより

ボーイのひろば

【コロナ禍でのスカウト活動】

しろくま班

班長 三原 昊大

去年は、コロナウイルスが広まっていき、ボーイスカウト活動がほとんどできませんでした。僕はキャンプが好きなのですが、あまりできなかったのも、と



ても悲しい一年でした。しかし、このような状況下だからこそできることもありました。例えば、お家キャンプや家でも積極的に料理を作ったりすることが増えました。料理を作ったりしたことで、自信もつきました。コロナウイルスが収まったら、家で身につけたスキルを使ってみたいです。

次長 野坂 一平

4月17日、僕は三原君、山本君、陶山君といっしょにスカウトハウスでタープをたてていました。今年のグリーンバーは昨年と同じメンバーなので、去年初めてグリーンバー訓練をした時を思い出しました。その時に比べて、自信をもって活動できているなと思いました。

タープをたてた後の隊長の座学では、班長、次長がどうあるべきかをみんな考えました。隊長は、班長、次長はカッコよくあるべきだと言いました。僕は、カッコいい自分の姿を見せれた場面は、今まであったか考えました。ちょっとたよりなくて、自信なさげな姿を見せていたことが多かったのも、今年はいよいよ自信をもって、カッコよく下の子に接することを目標にしようと思いました。

浅中 淳志

一年間コロナでずっとキャンプが出来なくて、ふつうの活動すら出来なくて、何もやった気がしない。活動できてもたった三時間。班も変わらず昨年のままで、もうすぐジャンボリーがあります。この

ままでは、ジャンボリーがあるかどうかわかりませんが、今からでも、家などで出来ることをして岡山にも韓国にも行きたいです。

丸山 虹翔

10月にもくもくキャンプ場に班集会で行きました。当日は、雨でキャンプはなくなりましたが、ひがえりで行きました。最初は、よせぎざいくをしました。いろいろな形の木をくみあわせてみんなそれぞれちがう形のものをつくりました。そのあとは、くんせいづくりをしました。みんながもってきたぐざいをくんせいにしました。ぼくは、ポテトチップスをくんせいにしたものを食べましたが、けむりみたいなかんじでおいしくなかったです。でも一人一人がごはんをたいてそのごはんはおいしかったです。こんどは、ちゃんとキャンプをもくもくキャンプ場



でしたいです。

寄川 大樹

ぼくは、時間がすごく短いなと思いました。理由は、コロナの前は、午前から午後までずっとやっていたのに、コロナになって急に三時間になったからです。でもそのなかでも、ぼくは食器棚を作ったことがすごく心に残りました。

前は時間がたくさんあったけど、みんな協力してできてよかったです。でも最初は、みんな食器棚の作り方をわすれていてみんなとまどったけど、三原くんたちが少しだけ覚えていて、いっしょに食器棚を作って完成して喜びがあったのが心に残りました。時間は短かったけど、思い出が作れてよかったです。その食器棚でみんなキャンプをしたいです。

陶山 瑛次朗

去年のボーイスカウト活動は、いろいろなことがありました。たとえば、お家スカウティングキャンプでは、家でのキャンプ活動は初めてだったけれど

も、父親が弟といっしょに1泊2日間がんばって最初から最後までできました。

とくに、昨年の活動でいんしょうに残ったことは、昨年初めての隊キャンプです。なぜなら、去年は新がたコロナウイルス感せんしょうの拡大で、キャンプは家などで行なうか、予定していたキャンプは延期していてできなかったの、8月くらいにしたものが昨年初めての隊キャンプだったからです。

今年は、最初の隊キャンプは、コロナ拡大防止のためにできなかったけれど、今年は岡山のジャンボリーがあるかもしれないので、一週間もしあつたらがんばってやりたいことと、他の隊キャンプもがんばってやっていきたいです。

うぐいす班

班長 山本 莉輝

三月二十七日に久しぶりの隊集会がありました。集会ができない時は、ラインや電話でしかコミュニケーションがとれなかったの、みんなの顔が見れて安心しました。



立ちかまどづくりをしている時には、『ボーイの活動だなー。』や『ものづくりは良いなー。』としみじみと感じました。また、その日には新しい班名を決めたりもしました。意外にも『ウグイス』に票が集まり、新しくウグイス班ができることとなりました。僕は、『風流な川柳ができそうな班だ。』と思いました。

ウグイス（タイガー）班では、昨年度に班での活動やハイクができました。今回の隊集会の班ミーティングの中でも、班ハイクが楽しかったから、個人で色々案を出してまたしたい！という声もありました。大変な『計画』の部分からやりたい人が多く良いなと思いました。今年度は、班で色々な活動がで

きる班にしたいと目標ができました。

次長 陶山 慎太郎

昨年から活動が自しゅくしたことで、なかなかスカウト活動ができませんでした。とくにキャンプは、一泊もすることができず、少ししかすることはできませんでした。その中で家でキャンプをしようと思ひ、前にしていたおうちキャンプを家ぞくですることになりました。テントをたてたり、スカウト訓練をしたり、コッヘルをつかってご飯もつくりました。やっぱりキャンプをすることは楽しいことだとその時思ひました。

あと、スカウト訓練も土日をつかってときどき行ひ、弟とロープワークや手旗などもして行きました。なかなか隊集会もできなくなっていたの、弟と共に訓練をすることができてよかったです。今年に入ってからコロナのせいでなかなか集会などができなかつたけれど、おひさしぶりにした時は、安心して活動することができました。

今年度は三年生で受けんもあつたりするので、なかなか活動ができなくなってしまうかもしれないけれど、進級を目指して今年度もがんばって行きたいです。

足立 将悟

今、現在コロナの影響でキャンプをする機会がめっきり減りました。活動も制限され、時には活動が中止になることもありました。それでもぼくは、進級に向けてがんばっています。そして今三年生になり、忙しい日々を送っています。なかなかキャンプができませんが、進級に向けてがんばっています。

そして来年には、世界ジャンボリーがあります。楽しみにしている一面、できるかどうかわからないという不安もあります。それからまわりの人は、どんどん練習して進級しようとしています。ぼくもとりのこされないようにがんばろうと思ひます。

コロナ禍できびしい状態ですが、ぼくは、その中でがんばって、今やれることをやってみようと思ひます。

井上 寛太

昨年度をふり返ると、僕は隊や班の活動を楽しみ、仲間と協力して一生懸命取り組んで行きました。しかし、家での訓練にはあまりやる気が出ず、いつも後回しにしてしまっていました。そのため、ロープの結び方や炊飯の時の調理法が分からず、班の仲間に迷惑をかけることがよくありました。今年度は、そのようにならないために、あらかじめ訓練や勉強を

して備えたいです。学校での勉強と同じように、一つ一つていねいに繰り返し練習することで、少しでも多くのことを覚えられるように、がんばっていきましょうと思います。また、隊や班の活動では、家で覚えた知識や技術をいかし、先輩を手伝ったり、後輩をサポートしたりしていき、昨年度と同じように楽しく活動したいです。

まだまだコロナ禍が続く中での活動なので、感染予防をしっかりと、安心・安全に活動していきたいです。

福住 静海

二〇二一年はコロナウイルスの影響もあり、様々な制限の中での活動が多くありました。例年のようにたくさんキャンプを行うこともできませんでした。

しかし、私たちは数時間の中でも協力して活動しました。集会の最初に毎回行うスカウトオンでは、全員がその日の目標を立て、実行に向けて取り組みました。

また、集まって活動する機会が減った分、個人のスキルアップが重要になりました。自分自身の技能について、まだ不安な部分やすべきことが残っている、二級進級に向けてがんばっていきたいです。

浅中 悠大

昨年も、コロナの影響で十分な活動ができませんでした。

今年の班長・班員を決める集まりでは、「昨年十分な活動ができなかったから」ということで、同じ班長・班員となりました。井上さんによると、「卒業するスカウトがない。これは異例な事」だそうです。今年も、おそらくコロナで、思うようにスカウト活動が進まないでしょう。現に、四月二十三、二十四日のキャンプは、二十三日の三時間だけの活動に、変更になってしまいました。でもしっかり乗り切って、乗りこえたら、またいつもの活動ができます。

今年一年、いつもの活動ができるように頑張っていきたいです

ベンチャーの広場

【ベンチャースカウトになって】

福住 陽路

4月3日の上進式で僕はベンチャースカウトにな

った。ボーイ隊とベンチャー隊の一番の違いは進級も活動も自分から動いていかなければならないところだ。さらにベンチャー隊では活動がいわゆる複雑で難しくなっていくが、これまでボーイ隊で培ってきたスキルを存分に発揮しながら同時に多くのことを学んで、より良きスカウトとなれるように尽力したい。また、ベンチャー隊の活動は8団と合同で行われるので、そのメンバーにも早くなじみたいと思う。

さらに今年、僕はボーイ隊の上級班長にもなった。前上級班長の丸山くんのような働きができるかは不安なところもあるが、これまでボーイ隊で学んだことを最大限隊員たちに教えられるように頑張りたい。

國谷 拓希

今年僕は高校一年生になりました。隊も上進してベンチャースカウトになり、新しい活動がたくさん待っていると楽しみです。学年も高校生になり「寮生活」という今まで経験したことがないことを経験しています。最初は寮生と仲良くなれるか不安だったけれど、みんなフレンドリーで感動しました。まだ一か月たっていないけど、寮生と温泉巡りや買い物などに行きました。想像よりも速いペースでいろんな体験をしているせいで、みんな口をそろえて「なんか寮生活を初めて一年経ったみたい」と笑っています。ゴールデンウィークに久しぶりに帰った米子の家、何故か懐かしく感じました。県外の高校に通っている、ボーイスカウトの活動に参加するのは厳しい時もあるけれど、参加できる時は精一杯活動しようと思います。これからもよろしくお願ひします

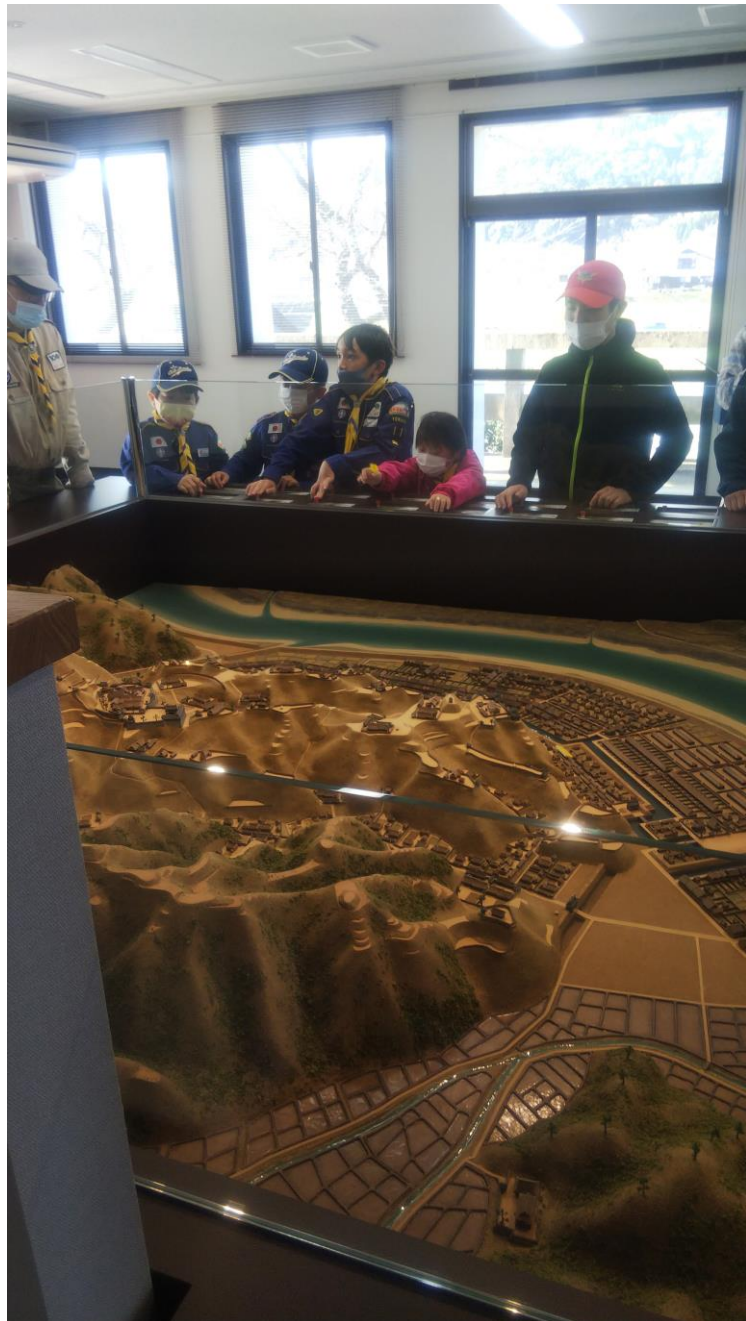


コロナで活動が制限される中、各スカウトは、料理作りやお家キャンプなど、できることに取り組みました。投稿は、上進前のスカウト対象ですが、依頼時期の関係で、内容は上進後のものも含まれます。ボーイの班名やボーイとベンチャーの区分は、上進後のものにさせてもらいました。

カブ隊の広場

前田健太

月山富田城登山をしました。
月山はかた道 40 分ほどで大山よりは、全然標高も登山の時間も少ないのでかん単だと思っていました。でも道のはばがせまくて高い道がたくさんあって、高い場所がにがてな自分にとっては、とってもこわかったです。でも、だからこそ落としにくかったんじゃないかと思いました。月山の歴史はとても長くて、すごい歴史がたくさんありました。月山の歴史は、大山の歴史に負けないくらいすごいとおもいました。



野坂太一

ぼくは月山富田城に行って、クイズをしながら上がったので、いろいろな事が分かりました。山中鹿之助の「わたしに七なん八x 苦しを、あたえよ」などの名言も分かってよかったです。ぼくはれきしが、好きなのでお城に登ってワクワクしました。本当に尼子氏につかわれていた城だからお城からしたの下の方で何が起きているかよく分かるこうぞう地形になってすごいと思いました。少しは尼子氏についてくわしくなったと思います。これからも調べるきかいがあれば調べてみたいです。



月山 高津佐孝太郎

今日は月山富田城にのぼりました。月山富田城にのぼるのは少したいへんでした。どこがちょう上かは、最初はわかりませんでした。でものぼっていく

とだんだんちょう上が見えるようになりました。月山富田城についてのクイズも少しむずかしかったです。そして、月山富田城にはいろいろな武しょうがかかっていました。ちょう上はながめがよくて、いろいろなところが見わたせました。カブ弁もおもしろかったです。ちょう上をたんさくしていたらいろいろなことが分かりました。下山するときの方がのぼるときよりはるかにはやかったです。今日の月山富田城にはたくさんのれきしがあっっておもしろかったです。



発表会 山中陽翔

12月の集会でカブスカウトぼくたちは、じょう熱大陸の曲をえんそうしました。練習ではつかれたりしてたいこをたたいたりするのがむずかしかったです。本番では2回やっていいえんそうができてよかったです。ステージにあがったらはずかしかったりきんちょうしたけどがんばってえんそうができてうれしかったです。



高津佐孝太郎

今日は、12月のスタンプで情熱大陸を合奏しました。たった2回の合同練習だったけれど、家でもたくさん練習したので、上手に出来るようになりました。本番のときはどきどきしたけれど、やっている内にどきどきしていたのもとれました。ぼくは、キーボード役で、ひくのがむずかしいところもあったけれど、上手にひけました。終わったと思いきや、アンコールが入ったので、2回目がスタートしました。2回目は1回目よりさらに、上手に出来ました。ぶた汁も食べて、心も体もあつまって終わりました。今日の合奏で十分に成果が発きでき、とてもよかったです。





情熱大陸 野坂太一

ぼくはじょうねつたいりくでけんばんハーモニカでした。青とくんといっしょにやって、ちょっとつまづいた所はどっちかがやっていてよかったし、また立て直してふけたのでよかったです。ほかの楽器と、テンポやリズムもあってよかったです。Bメロが青とくんもあっていたのでとてもきれいなハモリになって、いい感じになっていたの、よかったです。全体的にみんな、あっていたのでよかったです。これからももし合そうをしたらほかの楽器を試してみたいです。



隊長最後のゴヤキ

おつかれ様です。

コロナ渦の中なかなか原稿が集まらず今回青砥君とたまちゃんは写真のみの登場となってしまいました。申し分ありません。表紙にも書きましたが今後はウイズコロナでの活動が必要になってきます。月並みですが気を付けて活動していきましょう。

さて私事ではありますが2022年3月末をもって長年務めさせていただきました隊長を退任いたしました。団関係者の方々、また保護者の方々、そしてスカウト諸君大変お世話になりました。これだけ長く続けられたのも皆様のおかげだと思っております。本当にありがとうございました。そして隊長職以上に長くやってきましたスカウト便りの編集も今回が最後になると思います。

カブ隊の皆さんが國谷新隊長の元、より楽しく活動していられることを心よりお祈り申し上げて編集後記とさせていただきます。ありがとうございました。

清水



ビーバー隊の広場

工作をしてみよう 山本 かんた

水でつぼうとゴムでつぼう

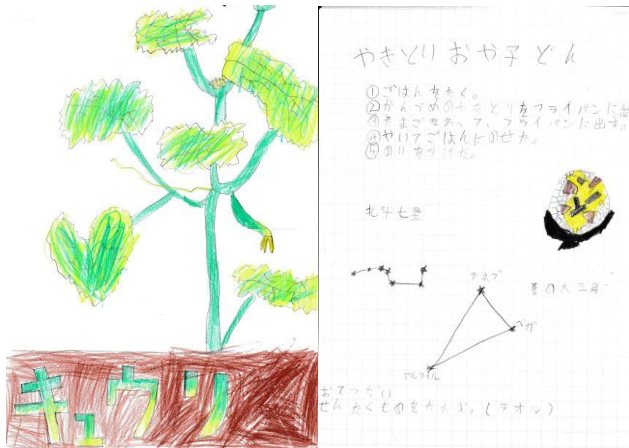
水でつぼうは、ひさしぶりにやるし、風せんに当て、たのしかったです。

ゴムでつぼうは、ゴムでつぼうをかいろょうしたりしてたのしかったです。



コロナでみんなとあえないので、たいちょうから「家でできることをやろう！」のしれいがでました。

- ① 花や野菜のスケッチ
- ② 料理にちょうせん
- ③ 夜空を見て、せいぎを教えてください
- ④ 自分にできるお手伝いをかんがえる



山本 かんた

②やきとりおや子どんのつくりかた

③ 北斗七星と夏の大三角

④せんたくものをたたむ (タオル)

焼き鳥おや子井おいしそうです。作ってみたいです。

ゴズつり い川 しょうま

今日、はじめてつりができてよかったです。

あと、エサのつけ方が分かりました。

これから、おとうさんとつりをしたくなってきまし

た。

ゴズつり 山本 かんた

ゴズがつれた時が一番、楽しかったです。

ぼくは5ひきつれました。

からあげにして食べると、サクサクしていておいしかったです。



令和4年1月～5月 団・隊の活動報告

- 1月3日 午前9:00 神田神社 新年拝賀式
- 1月23日 ビーバー隊 雪遊び ミルクの里
- 1月16日 カブ隊 巣箱つくり
- 1月20日 ボーイ隊 WEB会議 県大会報告
- 1月22日 ボーイ隊 WEB会議 県大会報告
- 2月活動 団。各隊新型コロナ禍で活動中止
- 3月27日 ビーバー隊 ハイキング
- 3月27日 カブ隊 巣箱の設置
- 3月19～21日 ボーイ隊 隊集会 2泊3日
- 3月27日 ベンチャー隊 隊集会
- 4月10日 イエロバートレーニング カブ隊
- 4月16～17日 ボーイ隊 GBトレーニング
- 4月23～24日 ボーイ隊 隊キャンプ
- 5月1日 団・BS、SS キャンプ場感謝デイ
- 5月3,4,5日 ボーイ隊 2時間の隊活動
- 5月3日 ビーバー隊 竹の子掘 中山町
- 5月22日 ビーバー隊 街なかハイク
- 5月22日 カブ隊 丸太工作 (トーテムポール)
- 5月22日 ボーイ隊 隊集会

《編集後記》

新たな年を迎え、また新たなコロナ株の広がりにより気持ちを引き締めまして、今年もよろしくお願ひいたします。身の回りのいたるところでコロナ対応。ジャンボリーもしかりです。おかげでマスクにもすっかり慣れました。

編集委員：島田・渡部・清水・大村